

## 令和元年東日本台風の浸水実績図の作成

令和元年東日本台風の荒川上流管内の浸水実績図の作成にあたっては、協議会のみなさまにご協力をいただきありがとうございました。

今回、みなさまから頂いた浸水の情報をとりまとめた浸水実績図をご報告させていただきます。

協議会のみなさまにおかれましては、適宜、ご活用ください。

令和元年東日本台風の浸水実績範囲は、表-1のA～Dを重ね合わせたkml形式のデータです。

kml形式データの確認方法は別紙をご参照ください。

表-1 令和元年東日本台風の浸水実績範囲データ

| データ名称                                    | 情報元               | 備考   |
|--|-------------------|--|
| A 自治体からの浸水実績図<br>(令和元年東日本台風浸水実績に関する提供情報) | 協議会各位             | 協議会各位より浸水実績として情報提供を受けたもの   |
| B 水害統計システムに登録される浸水実績情報                   | 国土交通省             | URL :<br><a href="https://www.mlit.go.jp/river/_sonohoka/flood_ss/index.html">https://www.mlit.go.jp/river/_sonohoka/flood_ss/index.html</a>   |
| C 令和元年台風19号に伴う大雨による浸水推定段彩図               | 国土地理院<br>(HPより)   | 令和元年10月14日16時時点で、国土地理院にて収集した情報と標高データを用いて、浸水範囲における水深を算出して深さごとに色別に表現した地図<br>URL :<br><a href="https://www.gsi.go.jp/BOUSAI/R1.taihuu19gou.html">https://www.gsi.go.jp/BOUSAI/R1.taihuu19gou.html</a> |
| D 衛星画像判読浸水区域                             | 埼玉県県土整備部<br>河川砂防課 | 2019年10月13日10時28分時点で撮影したもの   |

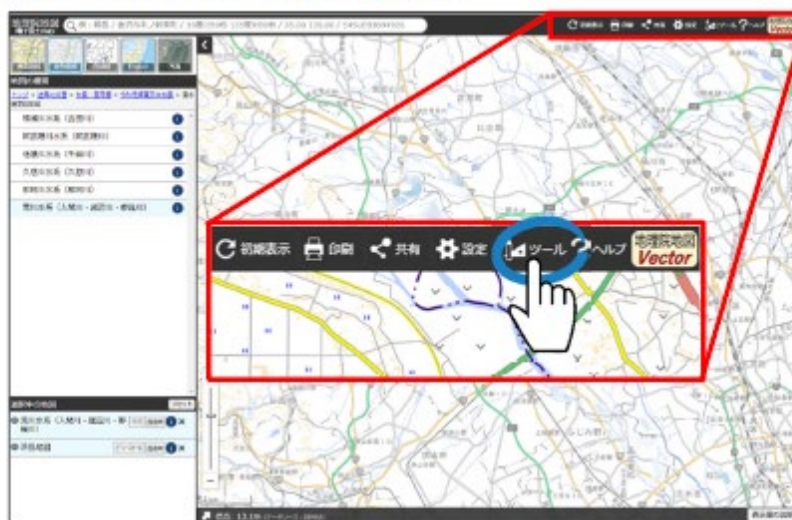
## 地理院地図（電子国土 web）で kml ファイルを読み込む方法

1. ブラウザ上で地理院の HP を起動。（下記をクリック）

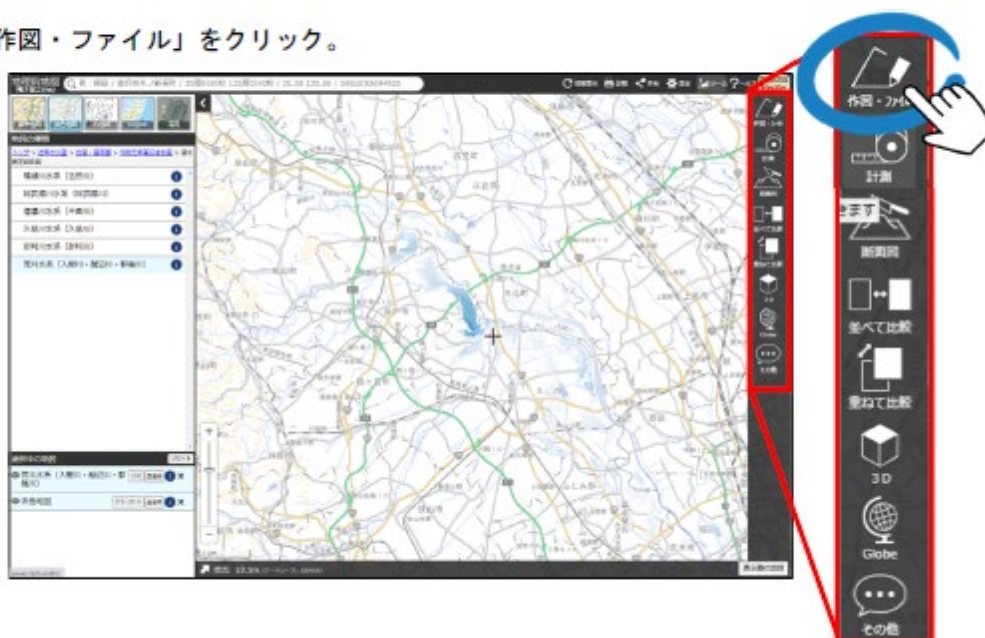
<http://maps.gsi.go.jp/#14/35.964808/139.455686/&base=std&ls=std&disp=1&vs=c1g1j0h0k010u0t0z0r0s0m0f1&d=m>

2. 「A 自治体からの浸水実績図.kml」を読み込む

① 右上のツールバーの「ツール」をクリック。



② 「作図・ファイル」をクリック。



- ③左端のフォルダマーク「ファイルからデータを取り込む」をクリックし、「A 自治体からの浸水実績図.xml」を選択して読み込む。

または、ファイルを地図上にドラック&ドロップして読み込む。

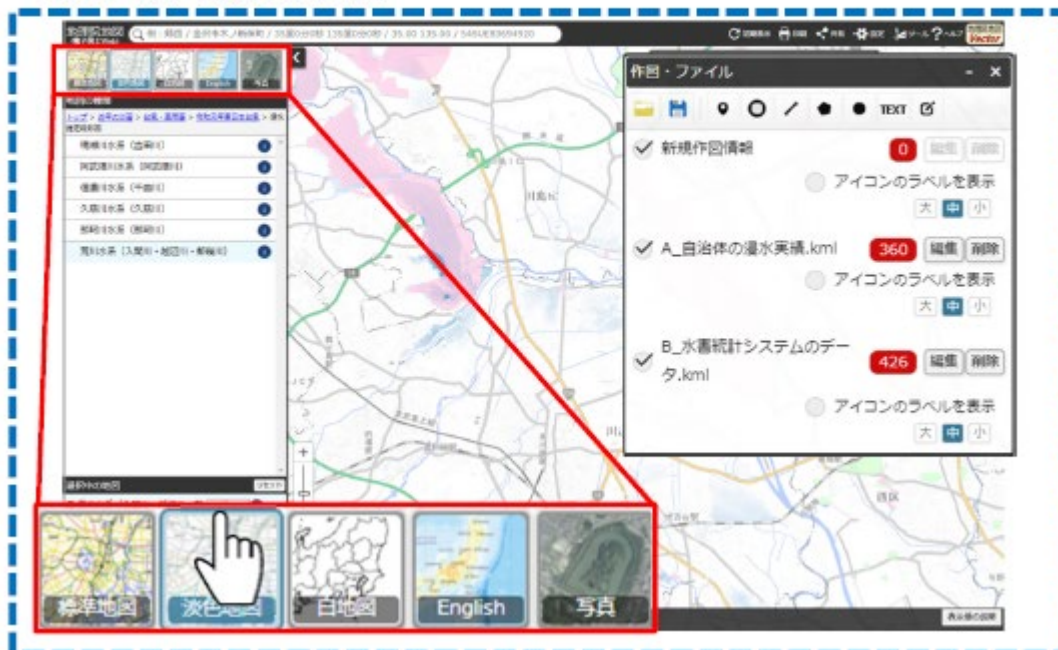


3. 「B 水害統計システムに登録される浸水実績情報.kml」を読み込む

2.と同様に読み込む。

【読み込み後の表示イメージ】

表示する地図を切り替え可能



4. 「C 令和元年台風19号に伴う大雨による浸水推定段彩図.kml」を読み込む

2. と同様に読み込む。

5. 「D 衛星画像判読浸水区域.kml」を読み込む

2. と同様に読み込む。

